

④ 4年生 | 「あたたかさ生き物」

1年間の気温と生き物の様子を実感させる

「あたたかさ生き物」の単元では、春、夏、秋、冬の季節ごとに、決められた生き物を観察し、気温と生き物の関係を学びます。

ただ、限られた生き物の様子の変化を観察するだけでは、自然のしくみを理解できません。なぜなら、学校の周りには、季節ごと、またはその日の気温によってたくさんの生き物が姿を見せるからです。できれば1年を通して生き物を観察させたいところですが、理科だけでは時間数が足りません。

そこで、休み時間を活用して、1年間の気温と生き物調べをして、気温と生き物との関係を実感させたのでご紹介します。

○ 「1年間の気温と生き物調べ」

<ねらい>

- ・ 気温は1年間で大きく変化していることに気付かせる。
- ・ 1年間の気温と生き物の関係を調べる。

<用意する物>

大きなグラフ用紙・デジタルカメラ・ものさし・タックシール(赤くて丸いシール)・赤いサインペン

<方法>

- ①給食準備の時(12時)に毎日気温を測り、グラフ

用紙に丸いタックシールを貼って気温を示す。

※気温は、温度計に直接日光を当てずに測る。

- ②シールとシールの間は、ものさしで直線をひいて「折れ線グラフ」にする。
- ③1週間に1回、当番のグループが、昼休みに学校の敷地内で生き物調べをして、見つけた生き物をデジタルカメラで撮影する。
- ④撮影した写真は、グラフ用紙に貼る。
- ⑤グループで交代しながら1年間継続する。

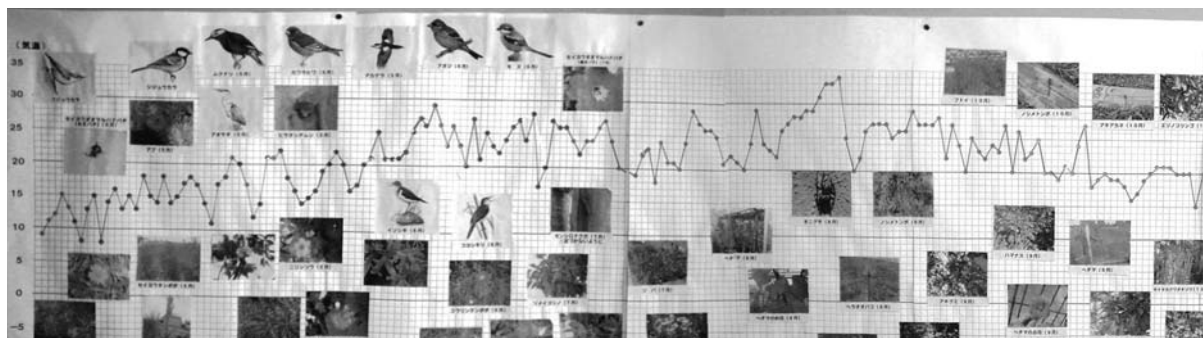
○ この実践からわかること

1年間活動が続けることで、子どもたちは1年間の気温の変化の大きさに気付きます。北海道の小学校に勤務しているからかもしれませんが、夏は35度、冬はマイナス15度ということがありました。子どもたちは気温差が50度もあるということに驚いていました。

また、学校の周りには、意外とたくさんの生き物がいることがわかります。私の学校の周りでは、70種類を超える生き物を子どもたちが発見しました。

さらに、季節によって見られる生き物の種類や数が異なることに気付きます。雪が積もる冬になっても生き物がいることに、子どもたちは驚いていました。

1年間の気温と生き物調べ



※今回は、グラフ用紙をパソコンで作り、大判プリンターを使って、A1ノビサイズで印刷して貼り合わせました。